

八代港における国際旅客船拠点形成計画書の一部変更改正(概要)

【R2年度までの進捗状況】

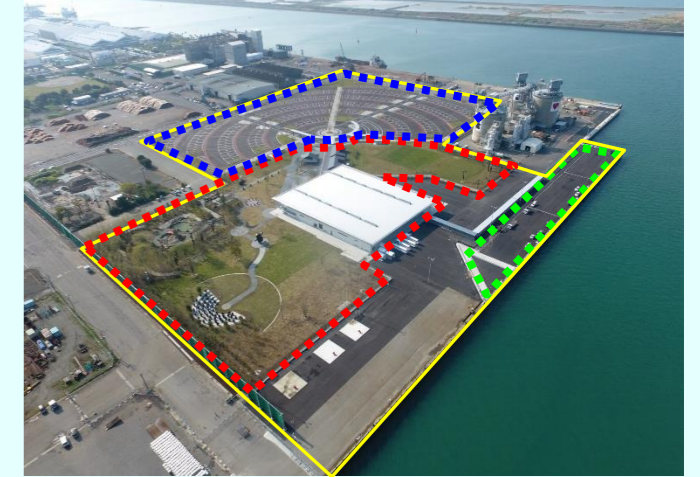
※RCL・・・ロイヤルカリビアン・クルーズ社

- 平成29年11月 「八代港における国際旅客船拠点形成計画書」策定
- 平成30年 2月 「八代港拠点形成協定書」締結（県・RCL）
- 平成30年10月 「クルーズ拠点基本計画」を公表（国・県・RCL）
- 令和 1年 8月 公募により愛称を「くまモンポート八代」に決定
- 令和 2年 3月 くまモンポート八代の整備完了
(新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオープンを見合わせ)
- 令和 2年10月 くまモンポート八代のプレオープン



【施設の概要】

- 国** クルーズ船専用岸壁 延長410m・泊地 (一部耐震強化岸壁) ※県管理
- 県** 駐車場 約4.4ha・大型バス最大150台 (その他、屋根付き通路・ギャングウェイ等)
- RCL** 旅客ターミナル 延べ床面積 約3,610㎡ おもてなしゾーン 約2.4ha (フードコート、くまモンエリア、日本庭園等)



【今回変更する経緯】

- RCLとの協議により、同社が整備したエリアのうち、旅客ターミナル及び商業施設（テナント棟）を除く公園部分について、今後は県が主体的に管理を行うこととした。
- 近年各クルーズ船社の運航計画確定時期が早まっていることを踏まえ、RCL以外の船社も八代港を利用しやすくなるよう、岸壁に係るRCL社の優先予約ルールを一部変更することとした。



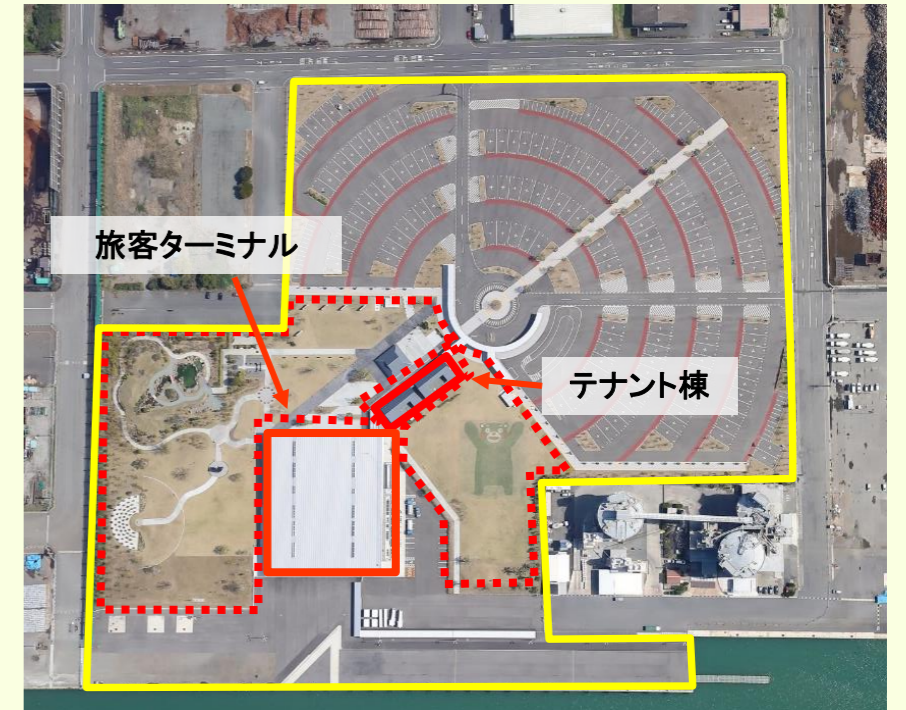
【期待される効果】

- 国内外で人気のくまモンをテーマとした公園部分を県が駐車場・岸壁と一体的に、また主体的に管理運営することにより、くまモンポート八代の地域活性化への活用が進み、県南地域の観光産業の再生・振興に資する。
- RCL以外の船社が運航計画決定時期に予約できることにより、予約件数の増加が見込まれ、八代港へのクルーズ船の寄港増に繋がる。

【主な変更内容】

- くまモンポート八代の管理者を以下のとおり変更する。

- 右図の赤点線で囲うエリア(約2.3ha)について、管理者をRCLから県に変更する。
 - 旅客ターミナル及びテナント棟(約0.6ha)については、引き続きRCLが管理する。
- ※赤線で囲うエリア以外のエリアについては、全て県が管理を行う。



- 岸壁に係るRCLの優先予約ルールを下図のとおり変更する。

年 月	N年												(N+1)年												(N+2)年											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	各船社の一般的な運航計画決定時期												予約対象期間																							
現 行	(実質RCLのみ予約可能な期間)					RCL優先予約期間					RCLを含む全ての船社の予約期間																									
変 更 後	RCL優先予約期間					RCLを含む全ての船社の予約期間																														

← RCL以外の船社の予約期間の拡大(前倒し) →